

【特集】 — 鶴岡市立図書館 開館100周年 —

# 図書館に行こう！

鶴岡市立図書館

大正4年、大宝館の一室で産声をあげた図書館。  
11月10日に開館100周年を迎えます。

今回の特集では、100年の歩みや現在の取り組み  
を紹介するとともに、今年3月に策定した「鶴岡市  
子ども読書活動推進計画」を取り上げます。

◎問合せ 図書館本館 ☎25 - 2525

## みんなの図書館

皆さんが図書館に行く目的は何ですか。読みたい本を借りる、本で調べものをする、静かな場所で本を読む、本から新しい趣味を探すなど、人それぞれ理由があると思います。知識や情報だけでなく、様々な言葉や表現、考え方を教えてくれる本。本館と五つの分館から成る市立図書館は、本の大切さを伝えるとともに読書の楽しさを広めるため、本や視聴覚資料等の貸出しをはじめ、読書ボランティアの育成、学習支援、朗読イベントの実施など様々なサービスを提供しています。また、合計約三十七万冊の蔵書を備える身近な情報拠点でもあります。

## 読書に親しめる環境づくり

図書館では、誰もが利用しやすく、より多くの方が読書に親しめる環境づくりに取り組んでいます。

どの館でも本の貸出し・返却ができるよう、図書館システムと呼ばれる情報ネットワークを全ての館に整備するとともに、図書館になかなか足を運べない遠方の方も本を借りられるよう、月一回、市内の五十三か所へ約三千冊の本を積んだ自動車文庫「やまびこ号」を運行し、利用者の利便性向上を図っています。また、幅広い年代の方から図書館に足を運んでもらうために、乳

# 鶴岡市立図書館100年の歩み

## 大正

- 4年11月 大宝館内に鶴岡町立図書館を設置
- 14年10月 大宝館北側に建設した独立館舎へ図書館機能を移転(写真①)



## 昭和

- 3年9月 館外貸出し制度を開始
- 20年8月 戦局の悪化に伴い夜間開館を中止。蔵書約2,000冊を東田川郡大泉村(旧朝日村)上田沢地区の民家10戸に分散疎開
- 9月 終戦に伴い疎開した蔵書が戻される
- 26年11月 全館使用することとなった大宝館内へ図書館機能を再び移転(写真②)
- 34年11月 第1回上野甚作賞の短歌を募集
- 45年 県立図書館で使用していた「やまなみ号」の払下げを受け、自動車文庫として運行を開始
- 49年5月 自動車文庫としてマイクロバス型の新車を購入。車名を公募し「やまびこ号」とする
- 51年6月 大宝館北側に隣接して「鶴岡市郷土資料館」が開館
- 60年7月 現在地(市内家中新町)に新館が完成し、創立70周年式典を挙行。24日に開館(写真③)



## 平成

- 2年5月 日曜日開館とする
- 3年2月 コンピューターで管理する図書館システムを開始
- 11年4月 郷土資料館の機能を図書館2階に移転し「郷土資料室」とする。これによって、大宝館北側の同資料館を休館
- 17年10月 本市の合併に伴い、新たに鶴岡市立図書館(本館と5分館)が発足
- 20年1月 「郷土資料館」の建物を解体し、図書館2階の「郷土資料室」を「郷土資料館」とする。これによって、本館は「鶴岡市立図書館」と「鶴岡市郷土資料館」の併設となる
- 21年3月 新「やまびこ号」の運行を開始(写真④)。絵本作家・土田義晴氏の図書館イメージキャラクターの原画をラッピング
- 22年3月 同キャラクターの名称を公募し、ライオンを「ヨンデール」、オオカミを「リードン」と命名
- 27年3月 「鶴岡市子ども読書活動推進計画」を策定



ヨンデール



リードン

読書を通じて、子供たちの豊かな心を育むことも図書館の重要な役割の一つです。本市では、平成二十五年度に、子供の読書嗜好や読書量、市立・学校図書館の利用実態、読み聞かせなど家庭での読書環境などを把握するため、市内の小学二年・五年生、中学二年生、高校二年生とその保護者、および未就学児の保護者を対象にアンケートを実施しました。アンケートでは、「本を読むのが好きか」の問いに「好き」「どちらか」というと好き」と答えた子供が約七割となる一方で、「市立図書館に行くか」の問いに「ほとんど行かない」

### 子供の読書の実態

今後、情報化社会が進み、暮らしの中で情報が持つ価値が更に高まることが予想されています。情報拠点である図書館には、本の貸出しを行うことだけでなく、地域課題の解決や地域コミュニティの活性化に向けた生涯学習施設としての役割も期待されています。

幼児向けの館内おはなし会や、読み聞かせボランティアの育成、図書館見学や中学生・高校生等のインターンシップの受入れ、除籍本の無料プレゼントなどを実施しています。そのほか、携帯電話やスマートフォンからも蔵書の検索・本の予約ができるよう、図書館ホームページをリニューアル。利用者の要望に応じた書籍やDVD等の収集にも努めています。



# 鶴岡市子ども読書活動推進計画



## ■計画策定の趣旨

読書が育む力に対する意識を共有し、全ての子どもが、いつでもどこでも読書に親しめるような環境を整える

## ■計画の対象と期間

- ◇対象…おおむね18歳までの子供
- ◇期間…平成27年度～31年度

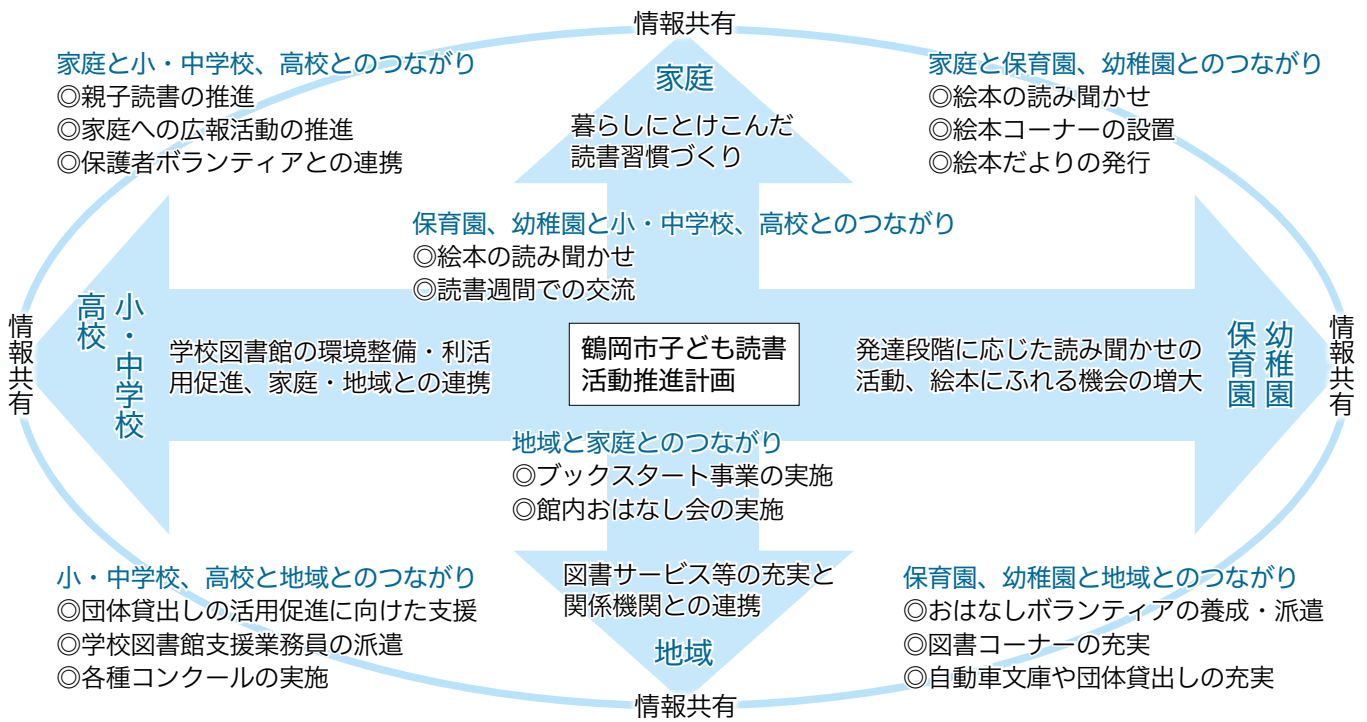
## ■基本の方針

- ◇社会全体の連携・協力
- ◇子供が読書に親しむ機会の提供と環境の整備・充実
- ◇子供の読書活動に対する普及・啓発

## ■計画の数値目標

目標項目	現状(平成25年度)	目標(平成31年度)
市立図書館の児童図書蔵書冊数(15歳以下の子供一人当たり)	4.3冊	7冊以上
市立図書館の児童図書年間貸出し冊数(15歳以下の子供一人当たり)	9.1冊	14冊以上
市立図書館の「学校協力貸出」の年間貸出し冊数	4,991冊	7,000冊
朝読書、読み聞かせ等全校一斉の読書活動を実施している学校の割合	▷小学校…100% ▷中学校…100% ▷高校…77.8%	▷小学校…100% ▷中学校…100% ▷高校…100%
家で全く本を読まない児童・生徒の割合	▷小学2年・5年生の平均…5.3% ▷中学2年生…19.9% ▷高校2年生…29.7%	▷小学2年・5年生の平均…0% ▷中学2年生…0% ▷高校2年生…0%

## ■主な取り組み



- ◇子供の読書活動に対する普及・啓発
- ◇子供が読書に親しむ機会の提供と環境の整備・充実…子供が読書の楽しさを感じられるよう、読書に親しむ機会を提供します。また、自然に読書に親しむことができ、本を身近に感じられるよう、図書、施設、サポートする人材の充実等、読書環境の整備・充実を図ります

アンケートの結果を踏まえ、本市では、今年三月に「鶴岡市子ども読書活動推進計画」を策定しました。この計画では、子供の読書環境を豊かにするため、家庭や学校、地域などが果たす役割や読書活動に関する数値目標等を定めました。次の三つを基本的方針として、今年度から取り組みを進めます。

◇社会全体の連携・協力…子供が読書に親しめるよう、家庭、保育園・幼稚園、学校、地域等が連携・協力して子供の読書活動を推進します

**鶴岡市子ども読書活動推進計画**

「全く行かない」と答えた子供が、中学二年生と高校二年生とともに約九割となりました。また、「家でどのくらい本を読むか」の問いに「全く読まない」と答えた子供の割合は、中学二年生で約二割、高校二年生では約三割に達しました。図書館が余り利用されていない現状や、学年が上がるにつれて勉強や部活動などで読書時間が少なくなる実態も分かりました。



# ～図書館開館100周年記念事業～

〈これからの予定〉



## ◆企画展示「松森胤保展」

□期間 11月15日㊤まで

## ◆文学イベント 佐藤賢一氏・池上冬樹氏トークショー

□日時 11月11日㊤午後6時30分  
□会場 中央公民館  
□講師 佐藤賢一氏（作家）  
池上冬樹氏（文芸評論家）

## ◆歴史講演会「庄内藩江戸屋敷の世界」

□日時 11月15日㊤午後1時30分  
□講師 岩淵令治氏（学習院女子大学教授）  
金行信輔氏（都市史研究者）



◎会場の記載がないものは図書館本館が会場  
◎各事業の詳細は、図書館本館 ☎25 - 2525  
にお問い合わせください。図書館HP等でも随時お知らせします

## ◆つちだよしはる絵本原画展&ワークショップ

### ◇絵本原画展

□期間 11月20日㊤～12月27日㊤

### ◇つちだよしはる氏ワークショップ

□日時 ①11月21日㊤午前10時、午後1時30分  
②12月19日㊤午前10時  
□対象 小学生以下各回先着25人  
□内容 ①バッグ作り ②リース作り  
□費用 300円  
□申込み 11月1日㊤から同館へ



## ◆鶴岡市合併・市制施行10周年記念事業 企画展示「『新編庄内史年表』発刊記念展」

□期間 来年1月～3月

## ◆佐藤茉莉子 絵本原画展

□期間 来年3月から

## ◆「鶴岡市子ども読書活動推進計画」策定記念 読み聞かせボランティア養成講座

□日時 来年3月19日㊤午後2時30分、20日㊤午前10時  
□講師 張替恵子氏（東京子ども図書館理事長）

## 図書館本館・分館の利用案内

図書館	住所（市内）・連絡先	利用時間
本館	家中新町14 - 7 ☎25 - 2525	午前9時30分～午後7時（12月～2月は午後6時まで。土曜・日曜日、祝日は午後5時まで）
藤島分館 （東田川文化記念館内）	藤島字山ノ前99 ☎64 - 2537	午前9時～午後5時
羽黒分館 （羽黒コミュニティセンター内）	羽黒町荒川字谷地堰28 ☎62 - 4627	午前9時～午後6時（土曜・日曜日、祝日は午後5時まで）
櫛引分館 （櫛引情報センター内）	上山添字文栄60 ☎57 - 5681	午前9時～午後6時（土曜・日曜日、祝日は午後5時まで）
朝日分館 （朝日中央コミュニティセンター内）	下名川字落合220 ☎53 - 2111	午前9時～午後7時（土曜・日曜日、祝日は午後5時まで）
温海分館 （温海ふれあいセンター内）	温海戊577 - 1 ☎43 - 4411	午前9時～午後5時

※休館日…年末年始。本館、藤島・櫛引・朝日分館は月曜日（祝日のときは火曜日〈藤島分館を除く〉）。

開館百周年を迎えた図書館。今までもそしてこれからも、来館者一人ひとりが本との豊かな出会いを経験できるように、図書館の魅力づくりに取り組んでいきます。今年度は開館百周年記念事業として、記念式典・講演会を行ったほか、企画展示や文学イベント、絵本作家の原画展や子供向けワークショップ、図書館ボランティアの養成講座などの多彩な催しを企画しています。この機会に図書館へ足を運んでみてはいかがでしょう。役立つ情報やお気に入りの一冊が見付かるかもしれません。皆さんのご来館をお待ちしています。

### 魅力あふれる図書館を目指して

…大人自身が読書活動に理解と関心を持つことが重要であることを認識するとともに、子供の読書活動の推進に向けた社会的な機運が高まるよう、理解啓発・情報の発信に努めます  
乳幼児への読み聞かせや、学校での集団読書などの体験は、子供の読書習慣の形成に大きな影響があるといわれています。子供の発達段階に応じた読書環境の整備に取り組みとともに、図書館では特に中学生や高校生向けの図書資料を充実させることで来館を促したり、同計画推進のために関係機関や団体を取り組んでいる情報を共有したりするなど、地域における読書活動の拠点として事業を展開していきます。